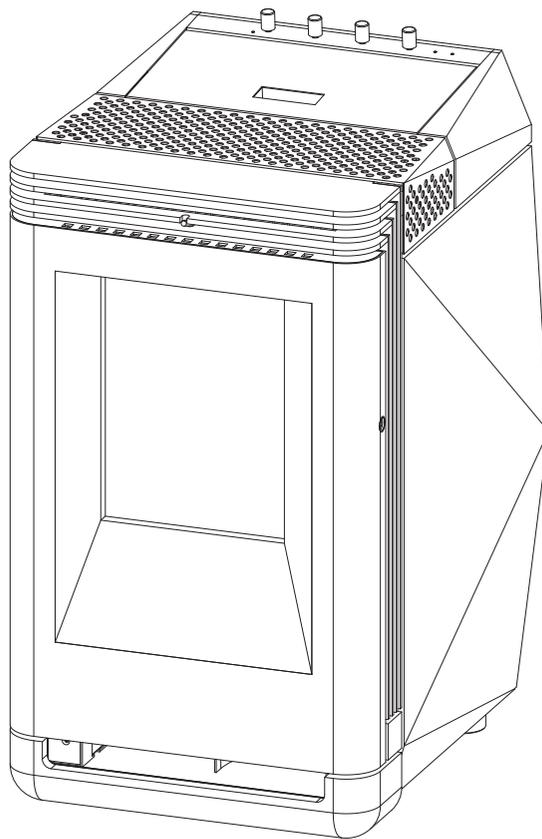


concord
ALCOTT

取扱説明書

このたびは、本品をお買い上げ頂きまことにありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。お読みになった後は、大切に保管していただき、取り扱いのわからないときや不具合が生じたときにお役立てください。



保証書別添付

安全上のご注意

安全に使用していただくための重要な項目ですので必ずお読みください。

このペレットストーブは、暖房機用です。室内暖房以外のご使用は絶対しないでください。室内暖房以外でご使用になった場合の故障・修理・事故その他の不具合については、責任を負いかねますのでご了承ください。

ここに表示した事項は、安全に関する重大な内容の記載です。表示の意味は次のようになっています。



警告

誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示します。



注意

誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示します。



してはいけない「禁止」事項です。



しなければならない「実施」事項です。



「注意」事項です。



絶対に分解・修理・改造はしないでください。



絶対に触れないでください。



必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

警告

高温部接触禁止

ストーブ運転中、及び運転停止後しばらくは、高温部、給排気筒等に触れないでください。やけどの恐れがあります。特に小さいお子様の見える家庭では、ストーブに触らせないように、ガードなどを使用し、十分な配慮をしてください。



禁止

可燃物接触禁止

カーテンや洗濯物など燃えやすい物の近くでは使用しないでください。また、スプレー・ガソリンなど引火の恐れがあるものは近づけないでください。発火、火災の恐れがあります。



禁止

木質ペレット燃料以外混入禁止

燃料タンクには木質ペレット燃料以外の物を入れないでください。故障の原因になります。



禁止

燃焼室異物混入禁止

燃焼室には、紙、布などを入れないでください。また、ライター、マッチでの着火、着火材は使用しないでください。



禁止

ストーブの上に物を置かない

ストーブの上に用途以外の物を置かないでください。加熱し危険です。



禁止

給排気筒のはずれ危険

給排気筒が正しく接続しているか点検してください。外れていると運転中に燃焼ガスが室内に漏れて危険です。



分解修理禁止

故障、破損したら使用しないでください。不完全な修理や改造は危険です。お買い求めの販売店に修理を依頼してください。



分解禁止

異常時使用禁止

臭い、煙、煤の発生、異音など、異常を感じたときは運転を停止してください。火災や異常燃焼の恐れがあります。



禁止

警告

お手入れはストーブが完全に冷えてから

ストーブ運転停止後しばらくは、本体、給排気筒が高温になっています。完全に冷えてから行ってください。

やけどの恐れがあります。



禁止

ストーブ運転中は扉、灰受皿を開けないでください。

火災、やけど、異常燃焼の恐れがあります。



禁止

給排気筒閉そく危険

積雪や異物などで、給排気筒の先端がふさがれているときは取り除いてください。運転中に燃焼排ガスが、室内に漏れて危険です。



実施

据付上の注意

お客様ご自身による設置は危険です。据付工事や移転工事は、必ずお買い求めの販売店に、ご依頼ください。

ストーブ及び給排気筒の備え付けには、各地の火災予防条例に従って備え付けてください。



実施

注 意

電源プラグのお手入れを

電源プラグを抜き、ほこりや金属が付着している場合は、取り除いてください。ほこりが溜まると湿気などで絶縁不良になり、感電、ショートの原因になります。



ほこりやごみを取り除く

使用しないときは電源プラグを抜く

使用しないときや、お手入れの際は電源プラグを抜いてください。また、電源プラグは濡れた手で抜き差ししないでください。火災や感電、予想しない事故の原因になります。



プラグを抜く

電源コードを傷めない

電源コードに物を載せたり、高温部に近づけたり、電源コードを傷めるようなことはしないでください。また、プラグを抜くときはコードをもって引き抜かないでください。火災や感電の原因になります。



実施

電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントの根元までしっかりと差し込んでください。又、傷んだプラグや緩んだコンセントは使用しないでください。火災や感電の原因になります。



実施

電源の接続

電源は適正配線された単相100V以外では使用しないでください。また、電源コードは延長コードを使用したり、たこ足配線をしないでください。発熱、発火の原因になります。



禁止

木質ペレット燃料は食べないでください

乳幼児が誤って口に入れないよう注意してください。



禁止

ストーブ表面のお手入れには、研磨剤など、ご使用なさないでください

塗装のはがれ、さびの原因になります。



禁止

ストーブの上に花瓶等のこぼれやすい物、及び用途以外のものを置かない

水が内部に入ると感電や故障の原因になります。また、高温状態のガラスに水などがかかると、割れる恐れがあります。



禁止

目 次

安全上のご注意	2～5
目次	6
各部の名称と機能	7～8
使い方	9～13
初めて使用するとき	9
燃料の確認と補給	9
扉	9
運転の開始と火力の調整	9
火力の調整	9
ダンパの調整	9
温風の調整	10
タイマの設定	10
運転の停止	10
運転中に燃料がなくなったら	10
トップカバー	10
毎日のお手入れ	11
定期的なメンテナンス	11～12
不使用時の保管	13
ストーブの移転等	13
消耗品について	13
トラブル対処フローチャート	14～15
運転ランプ 緑 が点滅したとき	14
異常ランプ（負圧）赤 が点滅したとき	15
異常ランプ（感震・過熱）赤 が点滅したとき	15
故障かな？と思ったら	16～17
仕様	18

各部の名称と機能

トップカバー

取外して、やかん等を使用することができます

パイプクリーナー

燃焼室内の上部に溜まった灰を落とします

温風吹出し口（上部）

燃焼室内で暖めた空気を送り出します

バッフルプレート

燃焼効率を高めるための板です

燃焼室

燃料を効率的に熱にします

セラミックボード

燃焼室内の後壁

扉

扉レバー差込口

レバーを差込口にセットします

扉レバー

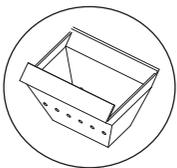
扉レバー差込口にセットし、前後に回し扉を開け閉めします

燃料落下口

ペレット燃料が落ちてきます

燃焼ポット

落ちてきた燃料を効率的に燃焼させます



灰受皿（小）

燃焼後の灰が溜まります

灰受皿（大）

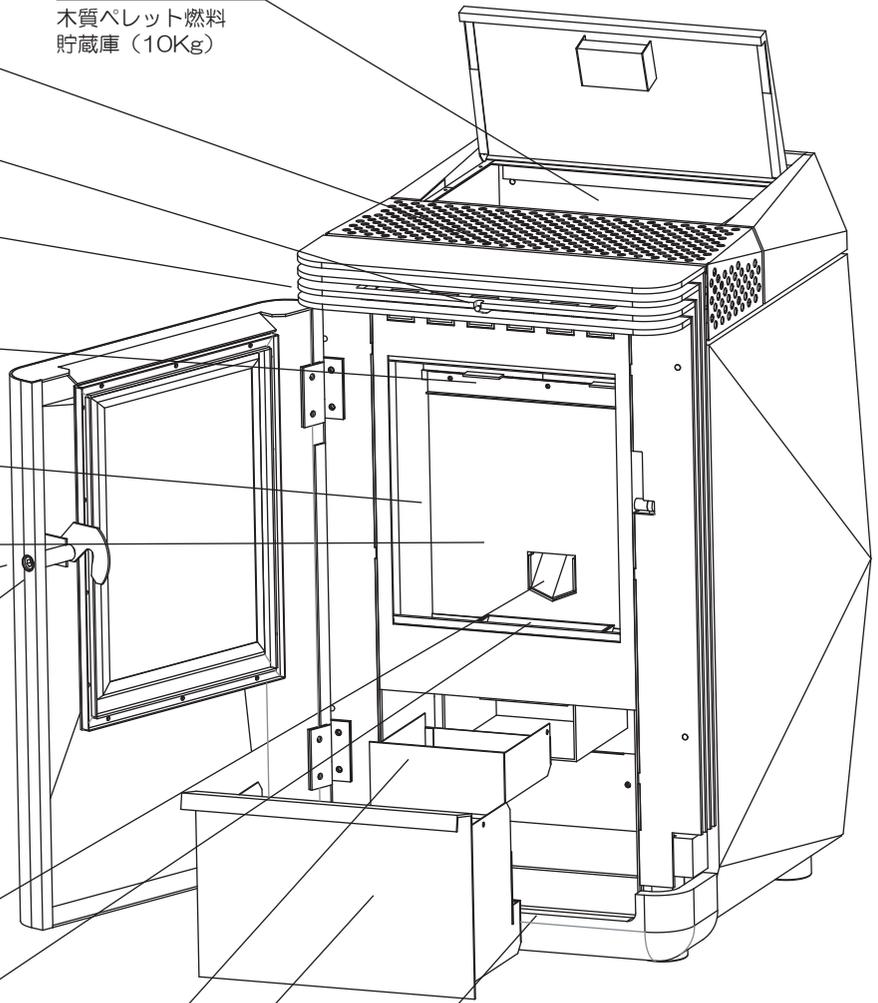
燃焼後の灰が溜まります

温風吹出し口（下部）

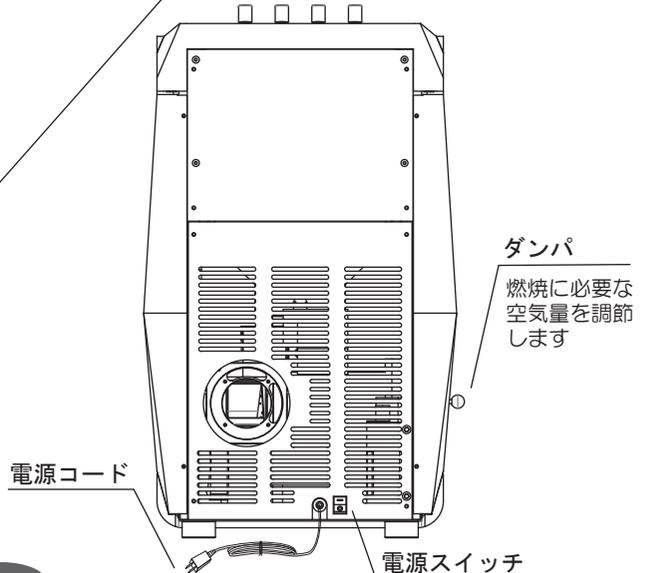
燃焼室で暖めた空気を送り出します

燃料タンク

木質ペレット燃料貯蔵庫（10Kg）



ストーブ背面

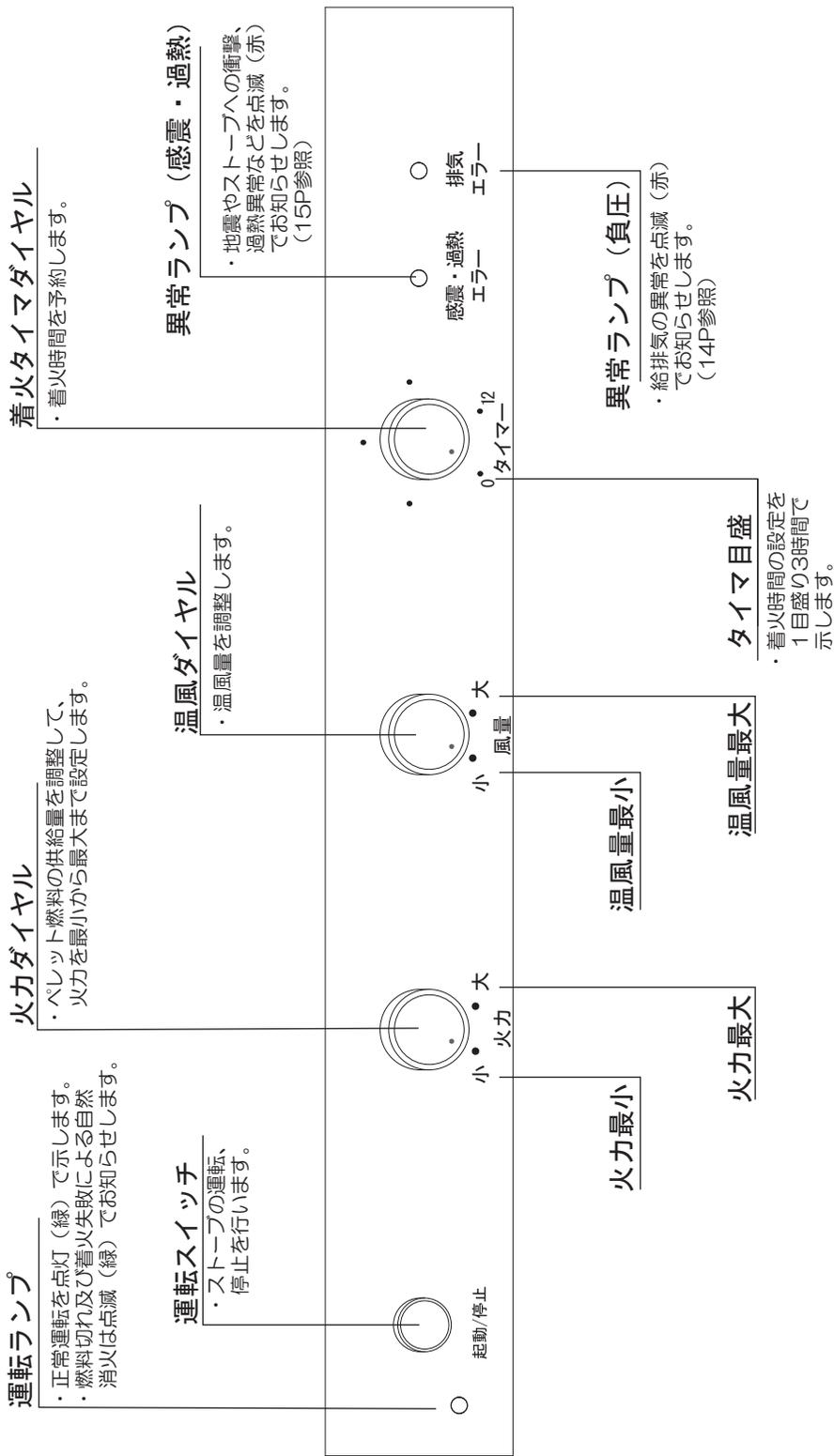


ダンパ

燃焼に必要な空気量を調節します

電源コード

電源スイッチ



使い方

【初めて使用する時】

1. 電源プラグを電源にしっかりと差し込み、背部の電源スイッチを入れます。
2. 燃料を燃料タンクに入れます。
3. 火力ダイヤルを最大にして、運転スイッチを押します。
4. 燃料が燃焼ポットへ落ち始めたら、火力ダイヤルを12時方向（目安）にセットしてください。
5. 着火後、燃焼が安定したら、火力ダイヤル及び温風ダイヤルにて、火力、温風量を調整してください。

【燃料の確認と補給】

ご使用の燃料については、パークペレットは使用不可能です。ホワイトペレット、全木ペレットでも燃焼に向き不向きがありますので、ご購入先の販売店にご相談ください。

1. ご使用前には必ず燃料タンクを点検し、燃料の補給を行ってください。
2. 燃料タンクは10kg入り、最大火力で約6時間燃焼します。使用状況に合わせて燃料の補給を行ってください。

※保管している間に燃料が湿気を持つことがあります。湿気を持った燃料を使用すると着火しにくくなり、不完全燃焼の原因になります。

【扉】

1. 扉レバーを扉レバー差込口にセットして、前後に回し扉を開け閉めします。

※扉は隙間があると、不完全燃焼やトラブルの原因となりますので、しっかり閉めてください。

※扉のガラス部は耐熱性のガラスです。熱を持ったガラスに水がかかったり、ぬれた布等を使用すると破損します。

※扉のガラス部破損の際は、お買い求めの販売店までご連絡ください。弊社以外のガラスは使用しないでください。

【運転の開始と火力の調整】

1. 運転スイッチを押します。運転ランプ（緑）が点灯します。
2. 火力ダイヤルを12時方向（目安）にセットします。
3. 着火後、燃焼が安定したら、火力ダイヤル及び温風ダイヤルにて火力、風量を調整してください。

【ダンパの調整】

燃料の供給量が適切なのに、炎に黒煙が混じったり通常よりも燃焼室内やガラスに煤が多くつくなどの症状が常時出るようになった場合、ダンパにて燃焼に必要な空気量を調節することが出来ます。

1. ダンパ調節レバーをスライドさせ、下記の「空気量と燃焼の症状」を参考に空気量を調整してください。

※手前に引くと空気量が多くなり、押しこむと少なくなります。

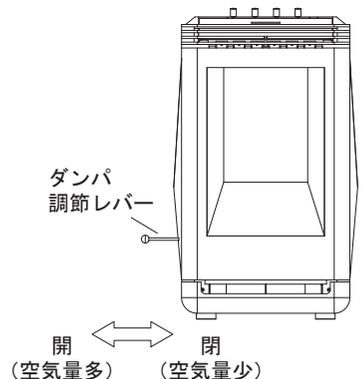
空気量と燃焼の症状

空気が多すぎる
（ダンパが開きすぎ）

- ・ペレット燃料の火種がボンボンと飛び

空気が少なすぎる
（ダンパが閉まりすぎ）

- ・炎に黒煙が混じる
- ・排気筒から煙が出る
- ・ガラスが煤けすぎる
- ・炎がゆらゆらと大きくなる
- ・セラミックボードが煤ける



使い方

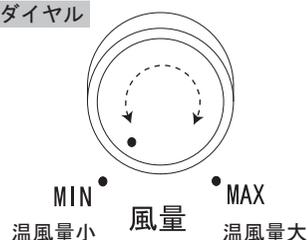
【温風の調整】

1. 温風吹き出し口より風が出始めたら、温風ダイヤルにて、温風量を調整してください。

※徐々に温風に変わってゆきます。

※ストーブが過熱しすぎた場合は、温風ダイヤルの設定に関係なく強風になります。

温風ダイヤル



【タイマの設定】

1. 着火したい時間は何時間後ですか？その時間を着火タイマダイヤルで設定します。

※1時間後から12時間後まで。目盛り1個は3時間を示します。

2. 運転スイッチを押します。運転ランプ（緑）が点灯します。

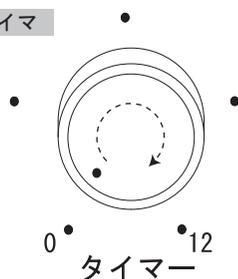
※運転スイッチを押した後に、ダイヤルを操作されると、タイマが正しく作動しません。

※設定を変更する場合は、着火タイマダイヤルを、カッチと音がするまで戻して、運転停止の状態にします。もう一度1. から設定してください。

※着火後、着火タイマダイヤルは、手動にて戻してください。

（自動で0には戻りません）

着火タイマ



【運転の停止】

1. 運転スイッチを押します。運転ランプ（緑）が消灯します。

2. 燃料の供給が止まります。

3. 燃焼室の安全温度（50℃）以下になるまで温風吹き出しと排気は継続し、その後すべて停止します。

【運転中に燃料がなくなったら】

1. 運転スイッチを押して運転停止の状態にします。

2. 燃料を燃料タンクに入れます。

3. 初めて使用するとき同様に、火力ダイヤルを最大にし、運転スイッチを押します。

4. ペレット燃料が燃焼ポットへ落ち始めたら、火力ダイヤルを12時方向（目安）にセットしてください。

5. 着火後、燃焼が安定したら、火力ダイヤル及び温風ダイヤルにて、火力、温風を調整してください。

※燃料タンクが空になっても、まだ運転が続いている状態で燃料を補充しないでください。

誤動作となる可能性があります。危険です。

【トップカバー】

1. トップカバーを外します。

2. 次にトップカバー内側を外します。

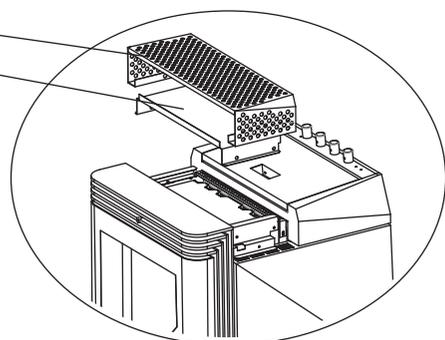
※トップカバーを外す際はやけどに十分注意してください。

3. ストーブの上にやかん等を乗せ使用することが出来ます。

※水や熱湯がこぼれないよう十分に気を付けてください。

トップカバー

トップカバー内側



使い方

【毎日のお手入れ】

1. 運転を停止し燃焼室内が完全に冷えてから、**A** 燃焼ポットを取り出し、付着した灰をハケで取り除き、燃焼ポットの方向（手前・奥）を間違えないようにしっかりと所定の場所に収まるよう戻します。
2. 燃焼室内はハケで、煤や灰を灰受皿に払い落とします。扉のガラス部 **B** は固く絞った濡れ雑巾や新聞紙で拭きます。また、少量の灰をつけて拭きますと汚れがよく落ちます。
※高温になっているガラスに水が付くと割れる可能性があります。
※ストーブ本体は特殊な塗装が施してありますので、布などで拭くことはおやめください。
柔らかい刷毛等で払う程度にしてください。

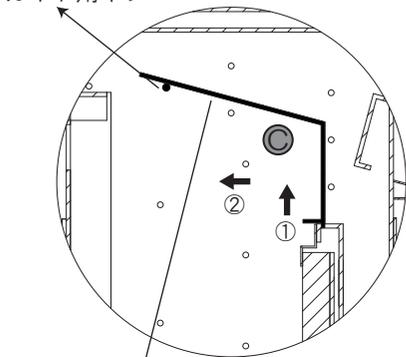
【定期的なメンテナンス】

■燃焼室上部の掃除

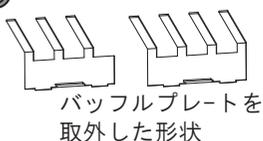
1. 燃焼室内、上部に **C** バッフルプレート（左右2枚）がはめ込まれていますので、バッフルプレート下部の少し突き出している部分①を指で押し上げて外し、②手前の方向へ引き出します。
2. 扉を閉め、**D** パイプクリーナーを数回出し入れして、燃焼室内上部に溜まった煤を落とします。燃焼室内に落ちてきた灰を燃焼皿へと払い落とします。
3. 清掃終了後は、パイプクリーナーを元の位置に戻し、バッフルプレートをはめ込んでください。
※バッフルプレートを取り付けずに使用されますと、燃焼性能が下がり故障の原因となります。
※使用頻度にもよりますが2週間に一度はパイプクリーナーによる、清掃をお勧めします。

バッフルプレート設置時側面図

ガイド用ネジ

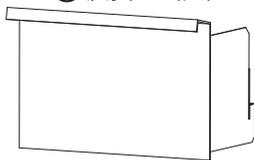


C バッフルプレート



バッフルプレートを取外した形状

E 灰受皿 (大)



F 灰受皿 (小)



手前 奥

A 燃焼ポット

使い方

■灰の処理

- ・扉を開け灰受皿(大) ㊦ を手前に引き出します。次いで灰受皿(小) ㊧ も引き出し、それぞれ灰を捨てます。

※燃料により灰の量は異なりますので、週に一度を目安に、灰のたまり具合を点検し捨ててください。

※灰の処理は、お住まいの市町村の条例に従ってください。

■燃料タンク底の掃除

- ・月に1度は燃料を使い切り、燃料タンクの底にたまったペレットの粉を掃除機で吸い取ってください。

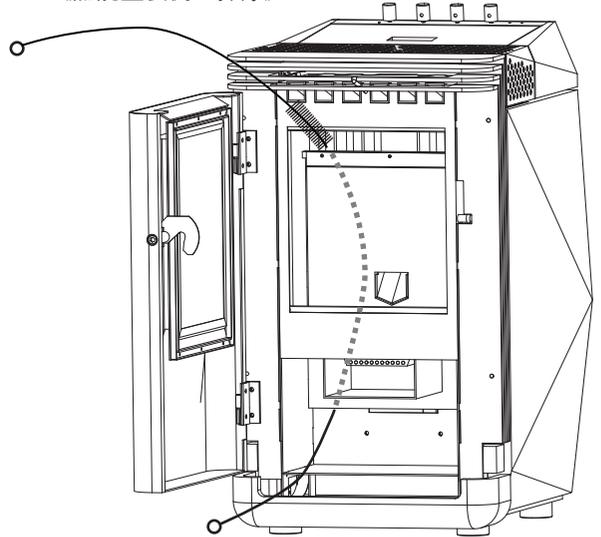
※燃料タンクの底にペレット燃料の粉が溜まっていると、燃料詰まりの原因になります。

■燃烧室裏側の掃除

- ・シーズン終わりの煤の付着が多いと思われるときは、専用ブラシなどで燃烧室の裏側に付着、堆積した灰や煤の掃除をしてください。

- ①バッフルプレートを取り外します。
P.11参照
- ②排気経路の上部からと下部より専用ブラシや、柄の長いブラシを挿入し、炉の背部に付着した灰や煤を落とします。
- ③落ちた灰はきれいに取り除いてください。

《燃烧室裏側の掃除》



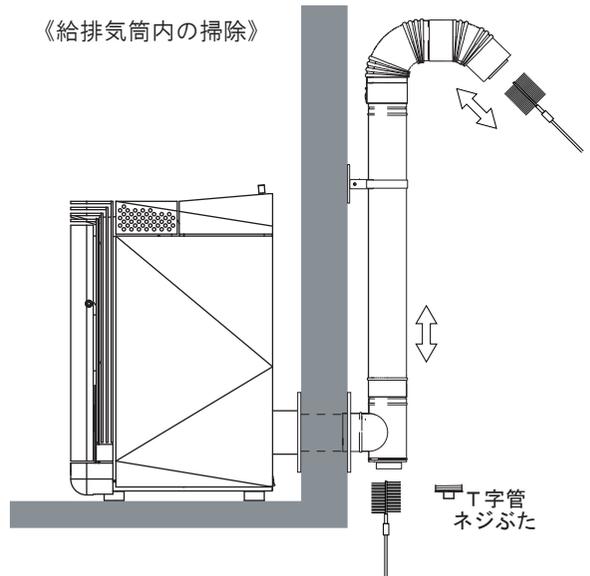
■給排気筒内の掃除

- ・給排気筒トップの煤の付着、異物の混入等、定期的に点検してください。
- ・シーズンの終わりには、給排気筒の掃除をしてください。また、シーズン中でも煤の付着がひどいと思われる時は給排気筒の掃除を行ってください。

- ①T字管のネジフタを外します。
- ②排気管掃除用ブラシを排気筒に差し込みブラシで煤をこそぎ落とします。
- ③排気筒の掃除終了後、T字管のネジフタを戻します。

※ネジフタに煤などが付着していると、うまく装着できませんので、煤などをきれいに取り除いてください。

《給排気筒内の掃除》



T字管
ネジふた

使い方

【不使用時の保管】

1. 燃料タンク内のペレット燃料を使い切ってください。
2. 毎日のお手入れと定期的なメンテナンスを参考に、ストーブ本体及び給排気筒の清掃をしてください。
3. 電源スイッチをオフにし、電源プラグを抜きます。
※電源プラグは落雷など、過電流による電気のトラブルを防ぐために、必ず抜いて保管してください。
5. 給排気筒トップにキャップをかぶせる等、外部からの湿気がストーブに入らぬよう処置をしてください。燃焼室内がサビる可能性があります。
- ※T字管の給気口を塞ぐ「T字管ネジフタ」（屋外立上用）、給排気筒トップからの、異物、湿気を防ぐための「排気管キャップ」などもご用意しております。
- ※燃焼炉内にも湿気取り剤を置くことをお勧めします。
6. ストーブ本体はできるだけ備え付けたまま保管してください。再度、備え付けを行うときは、必ず取付け業者に依頼してください。

【ストーブの移転等】

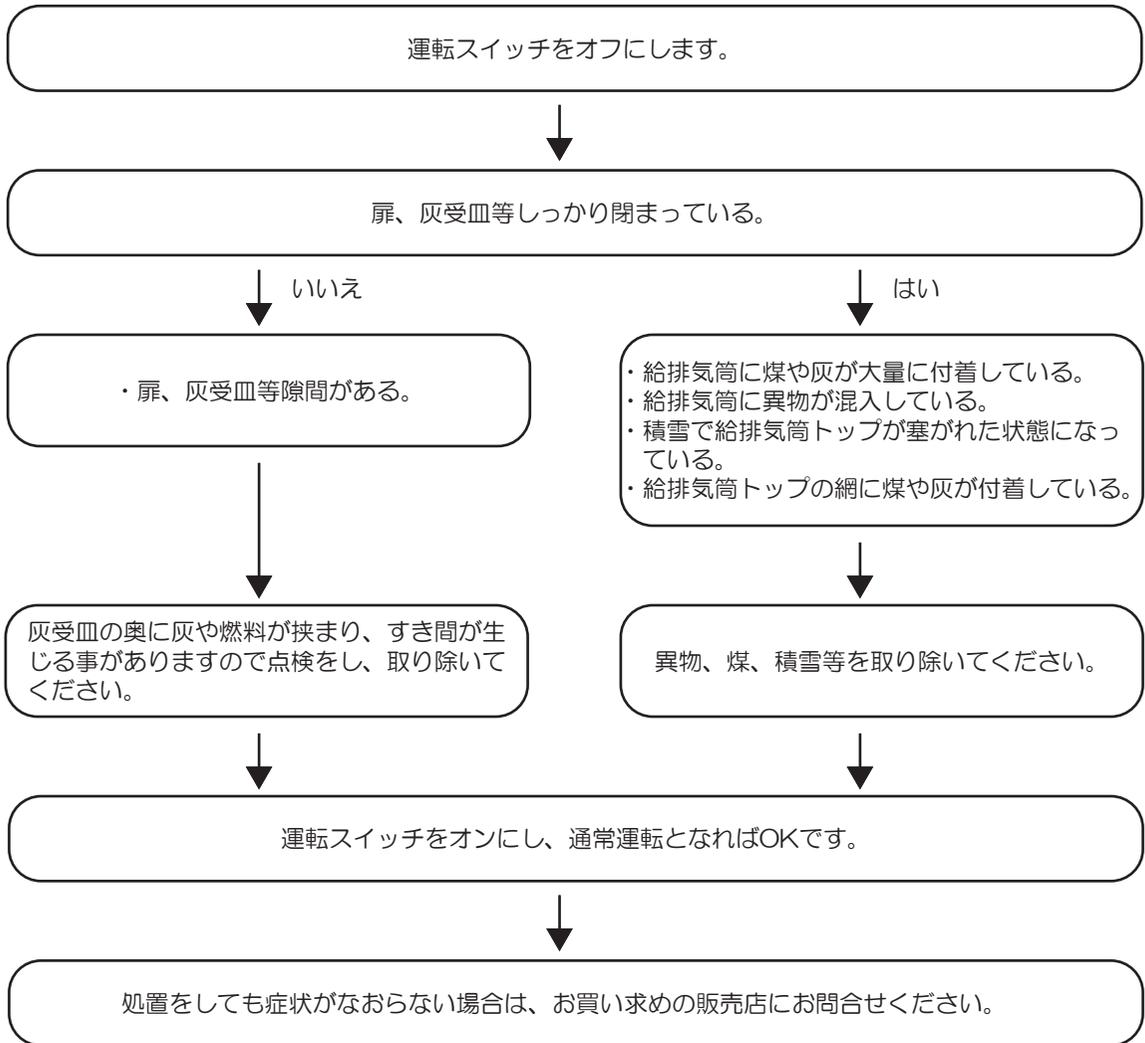
1. ストーブの設置場所が引越しなどで変わる場合、電気の周波数をご確認ください。
2. 周波数の切り替えが必要な場合は、ストーブの備え付けの依頼もあわせ、お買い求めの販売店にお問合せください。

【消耗部品・販売店によるメンテナンスについて】

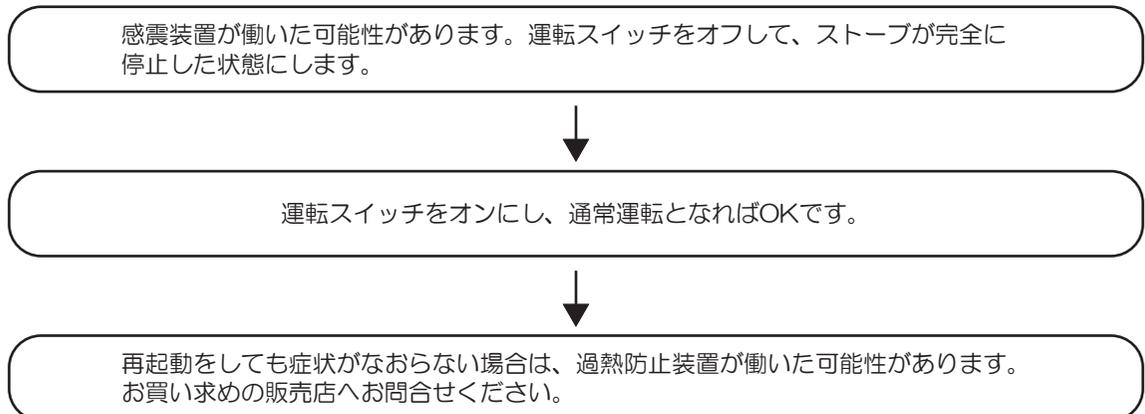
- ※ストーブの着火ヒーター、燃焼ポット、パッキン等は消耗部品です。
- ※消耗部品の劣化の点検や、定期的なメンテナンスでは取りきれない煤などのメンテナンスを、2年に一度は販売店に依頼されることをお勧めします。

トラブル対処フローチャート

【異常ランプ（負圧）赤 が点滅したとき】



【異常ランプ（感震・過熱）赤 が点滅したとき】



故障かな？と思ったら

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずここを読んで対処してください。

症 状	原 因	処 置
火カダイヤルにて火力を調節しても燃烧が変わらない	<ul style="list-style-type: none"> ■温風吹出し口より送られる温風が、自動で大きくなっていませんか？ 一定の高温状態が続くと、過熱防止装置が働き、自動運転（温風ダイヤル最大、火カダイヤル最小）となります。 	<p>燃烧室内が、一定の温度に下がると火カダイヤル、温風ダイヤルにて操作が可能となります。</p>
起動しない	<ul style="list-style-type: none"> ■ストーブ背部の電源スイッチが、オフになっていませんか？ 主電源が入っていません。 	<p>コンセントを差込み、背部の電源スイッチをオンにし、運転スイッチをオンにします。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ■着火タイマダイヤルがオンになっていませんか？ タイマが入っていると、設定時間、経過後に着火します。 	<p>着火タイマをオフにして、再度運転ボタンをオンにします。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ■ストーブは完全に停止していますか？ 燃料が燃え尽きて、燃烧室内の温度が一定温度に下がるまで排気用ファンは動いています。 	<p>完全に運転が停止したら、再度運転スイッチを押し、起動させてください。</p>
煙やおいがする	<ul style="list-style-type: none"> ■使用初期は塗料やほこりが焼けるためです。 	<p>しばらく窓を開けて換気をしながら燃烧してください。</p>
燃料に点火しない	<ul style="list-style-type: none"> ■燃烧ポットは正確に取り付けられていますか？ 燃烧ポットの向きが反対になっていたり、燃烧ポットがしっかりと収まっていないと着火できません。 	<p>もう一度燃烧ポットをセットします。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ■燃烧ポットの清掃はしてありますか？ 燃烧ポットに灰が付着し、空気穴や着火の穴を塞いでいると着火しません。 	<p>燃烧ポットに付着した灰等しっかりと取り除きます。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ■扉及び灰受皿はしっかりとしまっていますか？ 扉や灰受皿がしっかりと閉まっていないと負圧が不安定になり着火しません。 特に灰受皿の奥に燃料や灰がこぼれ落ち、しっかりと閉まらない原因となることがあります。 	<p>扉及び灰受皿をしっかりと閉めます。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ■燃料が水分を含んでいませんか？ 保管している間に湿気を持つことがあります。 	<p>湿気を持った燃料を取り除き、湿気のない燃料を使用してください。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ■給排気筒に詰まりなどありませんか？ 燃烧に必要な給気と排気が必要です。 	<p>給排気筒の詰まり、給排気筒トップの煤や灰を取り除いてください。 特に給排気筒トップには、煤や灰が付着しやすいです。</p>

故障かな？と思ったら

症状	原因	処置
燃料が燃焼室に落ちてこない	<ul style="list-style-type: none"> ■燃料切れで自然消火した後ではないですか？ 燃料切れを起こした後は、スクリーン内に燃料が無い為め、燃料がすぐに落ちてきません。 	9P【はじめて使用するとき】同様に、燃料の補給を行い、運転スイッチを押して、しばらく待ってください。
	<ul style="list-style-type: none"> ■燃料タンクに詰まりはありませんか？ モーターが動く音がするのに、燃料が落ちてこない場合は、スクリーンの中で燃料が詰まっている可能性があります。 	スクリーン内の燃料を取り除きます。 14P【運転ランプ（緑）が点滅したとき】を参照して詰まりを取り除いてください。
運転中に消火した	<ul style="list-style-type: none"> ■燃料タンクが空になっていませんか？ 燃料切れです 	10P【運転中に燃料がなくなったら】を参照して、燃料の補給を行ってください。
	<ul style="list-style-type: none"> ■燃焼室や灰受皿に灰や煤が溜まりすぎていませんか？ 燃焼室及び灰受皿に灰が溜まりすぎると、燃焼に必要な空気が確保できません。 	燃焼室及び灰受皿の清掃をしてください。
	<ul style="list-style-type: none"> ■電源はきていますか？ 停電などで電源が途絶えた場合、燃焼室内が一定温度以下になるまで再運転は出来ません。 	燃焼室内の温度が下がったら、運転スイッチをオンにして運転を再開してください。 ※停電など電気のトラブルで燃焼中に突然運転が中断された場合、排気用送風機が停止してしまうため、燃焼室内が煙で充満します。温風吹出し口より煙が漏れることもあります。 この場合は自然と給排気筒から、煙が排出されるのを待ってください。 ※うっかり電源プラグを抜いてしまった場合は、再度コンセントを差し込んでください。排気用送風機のみ起動し、燃焼室内の煙を排出します。
	<ul style="list-style-type: none"> ■ストーブが異常高温になっていませんか？ 異常ランプ 感震・過熱エラー（赤）が点滅した場合、過熱センサーが働いた可能性があります。 	15Pを参照して処置をしてください。
	<ul style="list-style-type: none"> ■地震や強い衝撃を受けませんでしたか？ 異常ランプ 感震・過熱エラー（赤）が点滅した場合、感震装置が働いた可能性があります。 	15Pを参照して処置をしてください。
すぐに火が消えない	<ul style="list-style-type: none"> ■運転停止のため運転スイッチを押すと運転ランプは消灯し、燃料の供給は止まりますが、未燃焼の燃料は燃え尽きるまで火は消えません。 燃料が燃え尽き、燃焼室内の温度が一定温度になると対流用送風機、排気用送風機、全てが停止します。 	しばらく待ってください。
運転ランプ異常ランプが点滅している	<ul style="list-style-type: none"> ■異常が考えられます。 	トラブル対処フローチャート（14～15P）を参照して処置をしてください。

処置をしても症状が治らない場合はお買い求めの販売店にお問合せください。

仕 様

商品名	concord A L C O T T
暖房方式	強制給排気、強制対流形
点火方式	イグナイター方式
使用燃料	木質ペレット(バーク不可) ※ホワイト、全木でも燃焼器との向き不向きがありますので 販売店等へご相談ください。
発熱量(入力)最大	27,000KJ/h (6,500kcal/h)
発熱量(入力)最小	10,800KJ/h (2,580kcal/h)
熱効率	80%
暖房目安	50m ²
タンク容量	10kg
外形寸法	W470×D507×H772
重 量	90kg
電 源	100V 50Hz・60Hz
電源ヒューズ	10A
定格消費電力 点火時	420W
定格消費電力 運転時	70W/52W
安全装置等	着火タイマ・感震装置・過熱防止装置

- 発熱量は、木質ペレットの発熱量、18,000KJ/kgを基準に算出しています。
- 製品改良のため、デザイン、仕様の一部を予告なく変更することがあります。
- この製品は、海外ではご使用になれません。

部品のご入用、故障の場合、その他取扱上不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買上げの販売店にお問い合わせください。
※改良の為お断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

Shimotani

製造元 有限会社シモタニ
岐阜県下呂市萩原町上村853-1 TEL0576-52-3775

<http://www.shimotani.com>

販売店